

がわにし

広報かわにし

No.545

平成16年1月10日

2004
光の中へ!



特集 大地の芸術祭が残してくれたもの《後編》…2
新たな米政策と水田農業のビジョンづくりについて…7
真剣に考えよう合併について…10
十日町地域高速通信体系整備構想 3…18

人口の動き
—1月1日現在—
男 3,982 (－3)
女 4,053 (－2)
計 8,035 (－5)
世帯数 2,276 (+1)
() は前月比較

大地の芸術祭が 残してくれたもの 《後編》

先月号から、大地の芸術祭に参加した「こへび隊」のみなさんの感想などを紹介しています。彼らの情熱と行動力は、地域の人たちの芸術祭に対する考え方に大きく影響を与えたようです。

今回は、こへび隊に支えられた芸術祭を、作家の思いやアンケート結果なども含めて振り返ってみたいと思います。



人のつながりがホワイトプロジェクトを支えました

ふるさとに帰る感覚

岩崎 美和子

私は今回「こへび隊」として、川西町担当で主にベリー・スプ

昨年七月二十日から九月七日の五〇日間にわたり開催された「第二回大地の芸術祭」は、地域や関係者に何を残してくれたのでしょうか。
まず、先月号に引き続き、「こへび隊」の皆さんから寄せられた感想をご紹介します。



インの作品を手伝った。
ベリー・スプーンへの来場者の方に、「こんにちわ！」とあいさつすることは、当たり前のことなのだが、何故か新鮮に感じた。横浜ではあり得ないくらい来場者の方に積極的に話しかけたり、時には長話をしていた。まうことが多々あった。ブルーベリーヨーグルトやベリー茶を飲んでもらいながら、ベリーについて説明をすることで、「へーなるほどね〜」と言ってもらえることが嬉しく、ベリーについて自分なりに調べたりもした。
ベリー・スプーンの作品は、ブルーベリーやイチゴなど三六種類ものベリー類が植わっているベリー果樹園のなかで、子どもからお年寄りまで様々な人が協働し、ベリーの成長から加工までを通してコミュニケーションをテーマに展開していく作品である。

私はベリーを通じて、初対面の人など、人とコミュニケーションをとることの楽しさや素晴らしさを改めて知った。もっともつと色々な人と出会いたいと思えたことが、自分にとって何より芸術祭に参加して学んだことだと思う。



剪定作業をする岩崎さん

また、八、五〇枚もの白い布が張り巡らされた、平和というテーマに共感しながら、一枚一枚の布に色々な想いが込められた、様々な人が関わったホワイトプロジェクトは、本当に見応えのある作品だったと思う。会期後、布が撤去された後の景色は、何か物足りない気がして寂しく感じた。それだけホワイトプロジェクトは、ナカゴの景

大地の芸術祭が 残してくれたもの《後編》



ベリーと一緒に子ども
たちの夢も植えられま
した

色にとけ込んでいた。

私は、女子美術大学でテキスタイルを専門的に勉強している。伝統的な草木染や絞り染、型染など染を通して創るという行為から、言葉以上の自分の表現方法として相手に伝えられるように、そして共感してもらえるように、今基礎から学んでいる。そういったモノを創る側として、芸術祭の作品の中でもホワイトプロジェクトは、すごく分かりやすくおもしろい作品だと個人的に思った。

そして、そこで出会った人たちは、地元の方、こへびを含め本当に個性が強く、とにかく明るく積極的でやさしい人たちがかりであった。こんなにも出会えて良かったと思える人たちはいないだろうと思えるくらい、素敵な出会いが出来て本当に良かった。

(女子美術大学芸術学部工芸学科二年／横浜市出身)

終わっても抜け出せない

武田 綾子

私がこへび隊に入ったきっかけは、友達に「ワークショップがいっぱいあるよ」と誘われたからだ。話を聞いてみるとんだかわからないけどとにかく楽

しそうで、新潟にタダで遊びに行けるし、「大地の芸術祭」の規模がとてつもなくデカく、ワクワクしてきたので、即「こへび」になった。

初めて妻有に行ったのは五月の連休が明けたところで緑がとも綺麗だった。都会育ちの私は田んぼを見てはしゃいでいた。ワークショップをしに行ったはずだったのに、なぜか植栽や掃除ばかりしていたが、そんな作業で田舎を十分に満喫することが出来た。

こへびになって間もなく、中里村のアン・グラハム作品の担当になった。今までにない規模のワークショップだと聞いて飛びついたのだが、ワークショップは一日だけで、それまでの間は雑用のような準備しかなかった。それだけでは物足りなく、こんな嫌だ、もっともつとワ

ークショップがしたい！と思った頃に、「お年寄りとのワークショップ」の言葉に惹かれて、ホワイトプロジェクトも手伝うことにした。

大当たりだった。布を縫う作業は得意ではないけれど、その後で、お茶を飲みながら交流するのは大得意だった。おばあちゃんの自慢の漬物を食べながら地元のことを聞いたりたわいもない話で盛り上がった。八、〇〇枚も集まるのかと思いきや、地元の莫大な協力のおかげであつという間に集まり、布一枚をつなげ合わせ、設置に到った。準備はひたすら楽しかった。都会からきた訳のわからぬ若者を地元の人達は暖かく迎えてくれた。至れり尽くせりだった。

すっかりこへびの身分が気に入った私は、会期が始まったら学校もバイトも全てを投げ出して名ヶ山に住みついていて。廃校を宿舎にして生活をするという、非日常的生活。毎日入れ替わり立ち替わりで変わるこへび同士での交流。ペーパードライバーだったにも関わらず、こへび、時にはお客さんを乗せての毎日の山道運転。こへびステーションやワーク

ショップで、お客さん、地元の人との交流。賄いや差し入れて食べる旨い米と野菜…。

普段はビルに囲まれ、コンビニまで歩いて五分というような環境にいるのに、周りは山と田んぼだけの、コンビニまで車で一分という世界。何もかもが新鮮で、刺激的で、楽しかった。思う存分その世界に浸っていた。会期が終わってから抜け出せないぐらいに。実際、大学が始まってもしばらくは大学生活に戻れなかった。名ヶ山の非日常的生活がずっと続けば良いのにと、本気で思っていた。ようやく一夏の思い出と思えるようになったが…。

何が私をここまで動かしたのか。考えれば考えるほどわからない。一つ言えるのは、小学生の感想文のようなが、ただ、ひたすら楽しい夏だった。

(淑徳大学社会学部社会福祉学科二年／東京都北区出身)

実際、会期が終わっても、こへび隊の皆さんと住民の皆さんの交流は続けられており、そこから派生して、今年の「かわにし雪まつり」には、彼らの企画と参加による催しも計画されています。

こうしたつながりは、どんどん続いてほしいですね。



畑の芸術だ！

今回の芸術祭に、「ベリー・スプーン」の作者として長期に渡って川西町に滞在した作家トウ・ザ・ウッズ（森口雅浩・章代夫妻）にもお話を伺いました。

—川西町に滞在した感想は？
六月初めから九月までこちら

で生活しました。四月に長男涼太が生まれて、子育てをしながらベリーの手入れやワークショップをしました。知らず知らずのうちに、子どもを連れて散歩していると、知らない人からも声をかけられ、すぐに「身近な人」になりました。そういう意味で、ベリーを育てるのと子育てが一緒で良かったと思います。「ベリーちゃんのお父さん、お母さん」と呼ばれたのが嬉しかったですね。



ベリー園には連日多くの家族連れが訪れました

—ベリー・スプーンを企画したわけは？

今、ウイーンに住んでいます。が、ヨーロッパに初めて行き言葉が通じなかったときに、自生しているベリーを地元の人たちと一緒に摘んだことで、コミュニケーションがうまくいった経験がベースになっています。

果実ならみんなそうだと思いますが、言葉がわからなくても、摘む、食べる、こういった行為をしながら十分意思疎通が可能ですし、深い理解もできると思います。

特にベリーは背が低いので、子どもたちと一緒に採りに行けるといいうメリットがあります。また、果実はジャムやクッキーに加工しながら新しい食文化を創造することも可能です。それを、川西町から、ナカゴから発信できたらいいなと思っています。

ベリーといっしょに育てます



—これからの見通しは？

ベリー・スプーンはまだ出来上がっていません。だから、どういう成長もできると思います。そういう意味では子育てと同じですね。

幸い、こへび隊の皆さんがい

れて、プロジェクトの成長のための大きな力になっています。実際、植え付けの時と比べると、ジャム作りのワークショップでは、参加している人たちの年齢や意識の幅がとても広がってきていると感じています。

これは畑の芸術だ！と叫んだ地元の人々の声に希望を抱いています。

こへび隊の皆さんの感想からも、作家のコメントからも、芸術祭の作品や心を生きたものにしていくのは、やはりここに住む私たちなんだということが伝わってきます。

そういう動きの芽が地域に生まれてきたことが、芸術祭が残してくれた一番大事なもののかもしれません。

第二回大地の芸術祭 参加者意向調査まとめ

十日町広域事務組合と六市町村では、「第二回大地の芸術祭」を評価・総括するために昨年十月に意向調査を実施しました。

今回の調査は「第二回芸術祭総括報告書」作成の参考資料とするため、アンケートではなく、参加者意向調査という形で行われました。

六市町村の芸術祭に関わった住民を対象に、七六〇人の方から回答いただいた調査結果をご紹介します。（次ページ）

主催者は総括ポイントとし

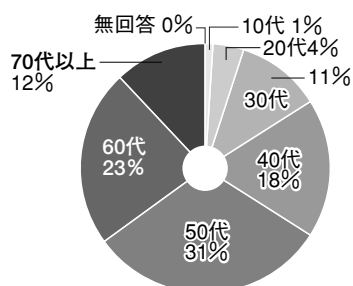
て、「第二回芸術祭は、来訪者数、経済効果、住民参加等において前回以上の成果があった。反面、時間的なゆとりがない中で、取り組みとなってしまうことや、受入関係、広報宣伝などに反省が残ったが、全体としては成功裏に閉幕したものとして位置付けている。積み残した課題については、早めの仕掛けにより対応し、一層の地域の盛り上げを形成しながら第三回を磐石の態勢で迎えたい」とまとめられています。

大地の芸術祭が 残してくれたもの《後編》

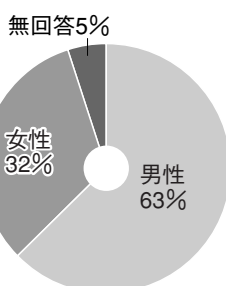
なお、芸術祭の開催効果、反
省点、次回に向けての課題につ
いてまとめた「総括報告書」は、
大地の芸術祭・花の道実行委員
会事務局（十日町消防署内・三
F企画振興課 57-263
7）で頒布しています。

第三回は今回の課題を改善し
て、いろんな人たちの参加を得
ながら、もっともっと魅力的な
芸術祭にステップアップしてい
きたいものです。

■年齢層別回答者割合

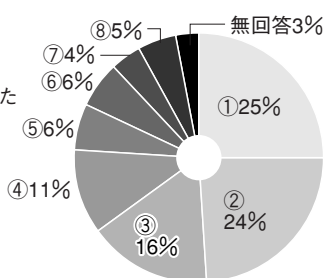


■性別回答者割合



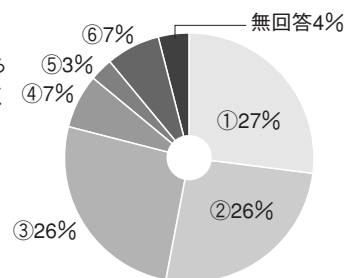
問1. あなたの今回の芸術祭における関わり方（2つ）

- ①作品制作
- ②作品やイベントの見学
- ③地域、勤務先が行う取組みに関わった
- ④こへび隊との交流
- ⑤資産の貸与
- ⑥来訪者への作品案内
- ⑦芸術祭のPR
- ⑧その他



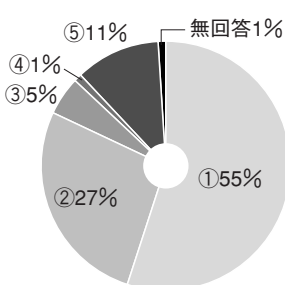
問2. あなたが芸術祭に関わりをもつことになったきっかけ

- ①興味があったから
- ②周囲から参加・借用を頼まれたから
- ③地域、勤務先の取組みだから仕方なく
- ④前回は参加したから
- ⑤自分の子供が関わっているから
- ⑥その他



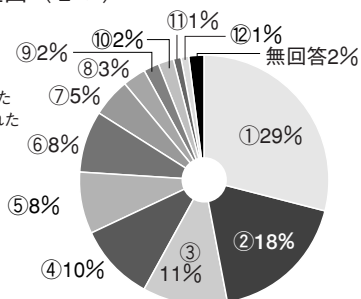
問4. 今回の芸術祭をあなたはどのように評価するか

- ①まあまあ良かった
- ②大変良かった
- ③あまり良くなかった
- ④全く良くなかった
- ⑤わからない



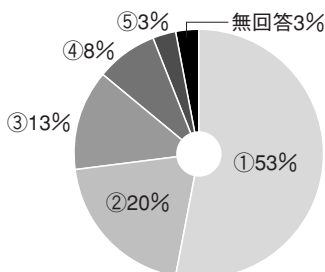
問5. 問4で「大変良かった」「まあまあ良かった」と回答した方で評価する理由（2つ）

- ①交流人口が増加した
- ②住民参加が見られた
- ③マスコミに取り上げられ知名度が上がった
- ④芸術祭が地域のイベントに位置づけられた
- ⑤既存施設や自然が有効に活用された
- ⑥住民のつながりが深まった
- ⑦子どもたちに教育的効果があった
- ⑧経済的効果があった
- ⑨市街地、商店街で展開があった
- ⑩イベントが多かった
- ⑪わかりやすい作品が多かった
- ⑫その他



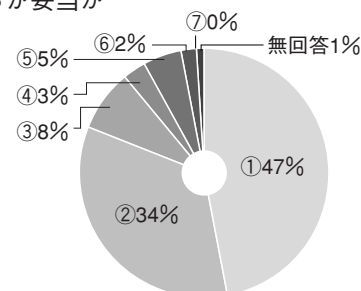
問6. 地域住民に対するパスポートの取扱いについてどのように考えるか

- ①有料販売で良い
- ②希望者に無料配布
- ③全地域住民に無料配布
- ④わからない
- ⑤その他



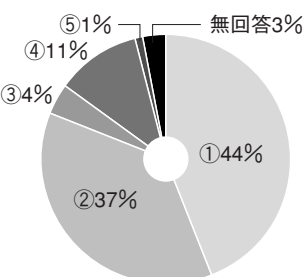
問7. 問6で「有料販売で良い」と回答した方で地域住民のパスポートはいくらが妥当か

- ①500円以内
- ②501～1000円
- ③1001～1500円
- ④1501～2000円
- ⑤地域外の方と同額で良い
- ⑥わからない
- ⑦その他



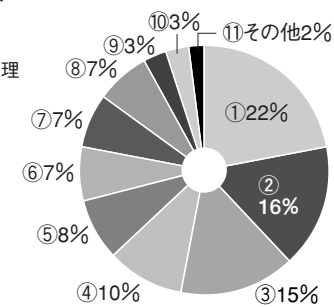
問9. 次回の開催について、あなたの考えに一番近いものは

- ①総括してから実施の判断をすべきである
- ②実施すべきである
- ③実施すべきではない
- ④わからない
- ⑤その他



問10. 問9で「実施すべきである」と回答した方で、今後どんな取組みが必要か

- ①事業予算の確保
- ②作品・ステージの有効活用、維持管理
- ③地域、子どもを巻き込む仕掛け
- ④こへび隊との継続的な交流活動
- ⑤観光部門との連携
- ⑥同時開催の他地域イベントとの連携
- ⑦地域内ボランティアの育成
- ⑧広報・PR
- ⑨案内看板整備
- ⑩各種情報公開
- ⑪その他





二〇〇四（平成十六）年

あけまして
おめでとーございます



頌書

皆々様へ
新春を心より
祈念申し上げます
循環型社会の構築
を目指して邁進いたします
平成十六年元旦
川西町長 田口直人



新年あけましておめでとうございます
町民の皆様にはすがすがしい新春を迎えられ
ましたこと心よりお慶び申し上げます
町政全般にわたり町民の皆様への各別
ご支援ご協力を賜り心よりお礼申し上げます
本年も何卒よろしくお願い申し上げます
お慶び申し上げます
平成十六年元旦 川西町議会議員 米正孝

だんだんどーも！ ②

「いやー教え方がいいんだんが、成長が早くて」と、講師の金子啓介さん（60・岩瀬）は受講生の上達ぶりを冗談交じりにこう語ります。

「そば打ち

スペシャルス

そば名人養成道場の巻



導が受けられるとあって、受講生も真剣そのもの。

室島の増田可津夫（41）さんは「最初はできあがりにムラがかりましたが、最近是要領がつかめてきました」と、手応えを感じているようです。岩瀬の登坂栄一さん（40）は、もともと岩瀬のそば祭りですば打ち体験の講師を務める実力派。それでも、「毎回新たな発見があつて楽しい」と向上心旺盛です。

苦勞して体得した技を惜しげもなく伝授している講師の小林さんは、「店の定休日でもあり楽しませてもらっています。ただ、教

えるだけで自分が打てないのが残念（笑）」と根っからのそば職人魂がのぞきます。

春には、新たなそば打ち名人が巣立ち、今度は町内の催しなどで講師を務めることになりま

す。二人で、現役のプロから直接指

新たな米政策と 水田農業の ビジョンづくり について



確保・育成、農地の確保を通じ、地域の特性に応じて農作物の生産を振興し、自給率の向上を図ることが重要となっています。今後の農業は、単なるコストダウンだけではなく、味・栄養・安全面へのこだわりなど高付加価値生産を目指し、世界に冠たる日本農業を確立していくための改革を進めていかなければなりません。

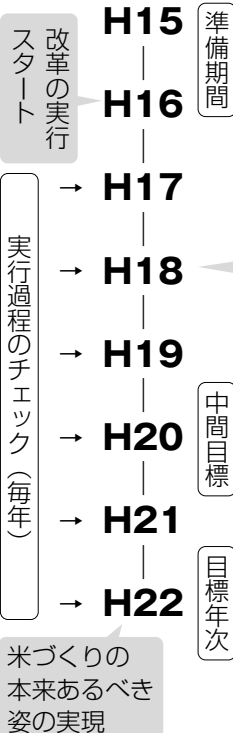
生産調整面積を管理する方式から生産数量により調整する方式へ転換します

今回の米政策の改革は農業の将来展望を切り拓くためのものです

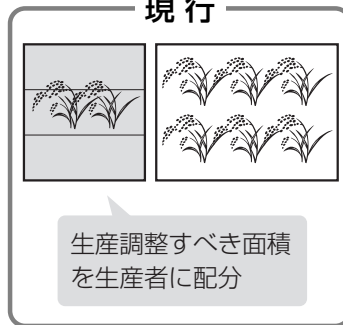
わが国の食文化を守るとともに、国民に良質な食料を安定的に供給するためにも、担い手の

農家の皆さんが、自分が農協等に売った米がどこにどれだけいくらずで売られたのかを知っていただき、本当に売れる量だけ生産していくという仕組みに直す必要があります。このため、農業者・農業者団体が需要に応じた生産を自主的・主体的に行うことができる

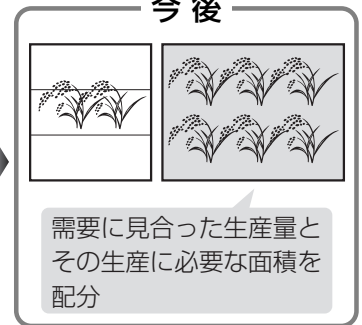
米政策改革のプロセス



現行



今後



よう当分の間（十八年産又は十九年産までの米）は、国が米の生産目標数量（ポジ数量）を配分する数量調整方式となります。農業者に対しては、併せて水稻作付面積を配分し、確認は面積によって行います。生産目標数量は、前年の需要実績、つまり実際に売れた量を基本とした客観的な需要予測を基礎に、透明な手続きによって設定・配分します。したがって、売れ残った場合は、翌年の生産量を減らすことが基本となります。

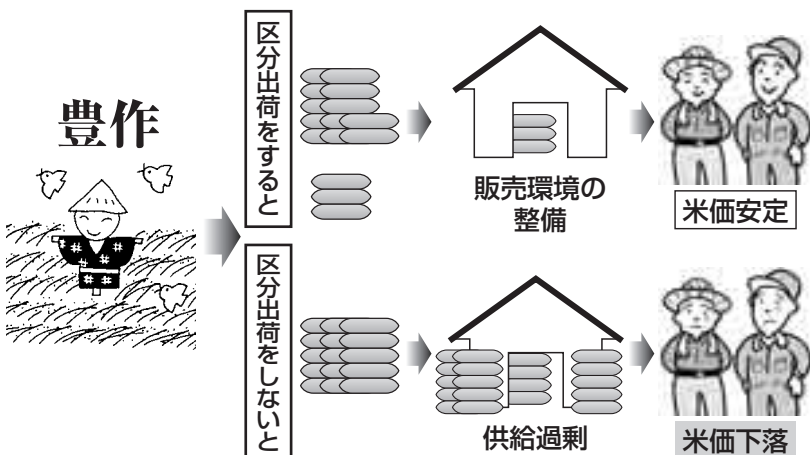
過剰米の処理方法が見直されます

豊作になれば、需要に見合った生産を行っていても過剰米が発生します。米価の安定のためには、過剰米について、産地段階で主食用と区分して出荷し、処理する必要がある。

過剰米の円滑な処理を図るため、主食用と区分して安価に出荷した過剰米に対して無利子の短期融資（融資期間一年）を行い、いったん市場から隔離することや、翌年の生産量を減らすことにより、販売環境を整備する取組みを促進します。融資を受けた過剰米を販売した場合、金銭で返済を行います。農業者が融資期間の一年以内にその過剰米を販売できなかった場合には、担保となっている米による返済が可能です。

地域の協議会等で助成金を何にどれだけ使うことにするのか決める産地づくり対策等の措置が講じられます

これまでの助成方式は全



国一律でしたが、これを転換し、地域の特色ある水田農業の展開を図るための「産地づくり対策」と「稲作所得基盤確保対策」を併せて柔軟に実施する「産地づくり推進交付金」を創設します。米価下落の影響を大きく受ける担い手については、「稲作所得基盤確保対策」に上乗せして、稲作収入の安定を図る「担い手経営安定対策」が講じられます。

■問い合わせ 役場農林振興課 振興係 ☎68-4954



【ご存知ですか介護保険】 介護保険料について



あけましておめでとござ
います。健康シエンです。今年
もよろしく願っています。

寒い毎が続きますが、みな
さん風邪などひいていません
か？

僕は、ちよつと鼻がグズグズ
してすつきりしません。

でもこれから〇×銀行に、お
ばあちゃんの介護保険料を納め
に行かなくちゃならないんだ。
寒くていやだなあ。

あらあらシエン君たいへんで

すね。そういう時のために、金
融機関と口座振替の契約をして
おくとう便利です。

あつそうか！そうすればわ
ざわざ金融機関まで行かなくて
も済むし、納め忘れもなくなる
もんね。

ん：でも待てよ。隣のおじい
ちゃん、年金から天引きされ
ているとか言っていたような
…。同じ介護保険料にも、いろ
いろな納め方があるのかな？

なるほどいいところに気がつ
きましたね。それでは今回は、
介護保険料について少しみてい
きましょう。

保険料の納め方は、年齢等に
より大きく分けて次の三つがあ
ります。

第一号被保険者

〔六十五歳以上の方〕

① 特別徴収

② 普通徴収

第二号被保険者

〔四十から六十四歳の方〕

③ 健康保険の保険税（料）と併
せて納めます。



特別徴収？普通徴収？

①の特別徴収は、年金の年額

が十八万円以上の方が対象で、
保険料は年金から差し引かれま
す。

②の普通徴収は、それ以外の
方が対象で、個別に金融機関等
で納めていただきます。

③については、健康保険ごと
に納め方も、保険料額の算出方
法も異なります。

詳細は、それぞれの健康保険
の保険者に問い合わせてみてく
ださい。

なるほど一口に介護保険料
といっても様々な納め方がある
んだね。

隣のおじいちゃんは第一号被
保険者で年金の年額が十八万円
以上だから年金から天引きされ
ていたんだね。

ということは、うちのおばあ
ちゃんは年金の年額が十八万円
未満なんだね。

いいえ。そうとも限らないん
です。

年金を扱っている社会保険庁
の制度上、年金の年額が十八万
円以上であっても、六十五歳に
なつて最初に迎える四月一日の
年の九月まで普通徴収で、十月
から特別徴収になります。



うーん…なんだか難しくて

よく分からないよ。

つまり、年金の年額が十八万
円以上であっても、六十五歳の
誕生日を迎えて、すぐに年金か
ら天引きされるのではなく、一
番早い人で六ヶ月、遅い人で一
年半の間は、普通徴収になりま
す。

ということは、うちのおば
あちゃんは、平成十五年の十二
月に六十五歳の誕生日を迎えた
んだから…最初に迎える四月
は、平成十六年になるぞ。

だから…えーと…平成十六年
の十月から特別徴収なんだね。

そうなります。

となると…十月まで、保険
料を納めるために金融機関に通
うのはたいへんだから、早速、
口座振替の申し込みに行つてき
まーす。

はーつくしよん！

あらあらシエン君、風邪気味
なんだから無理しないで。

みなさんも風邪にはお気をつ
けて。ではまた来月。

●問い合わせ けんこう支援課
介護保険係 ☎68-4957

◆議会報告◆

十二月十六日に始まった第六
回川西町議会定例会は、十八日
に全日程を終え、閉会しました。
十六日は、諸般の報告や、一
人による町政に対する一般質
問が行われたあと、新潟県市町
村総合事務組合の設置について
が可決されました。



答弁する田口町長

十八日は、「川西町福祉セン
ターの設置及び管理に関する条
例」が原案どおり可決されたあ
と、「平成十五年度川西町一般
会計補正予算（第四号）」、「平
成十五年度川西町国民健康保険
特別会計補正予算（第二号）」
ほか四件の特別会計補正予算が
原案どおり可決されました。
なお、議会の模様は一月二十
日発行の「議会だより」の中で
詳しく紹介されますので、ご覧
ください。

石仏に祈る

町内に、多くの石像・石祠が立てられている。庚申塔が最も多くて、二十三夜塔がそれに次いでいる。いずれも、豊作を祈り、順調な天候をお願いするものである。

天候の良し悪しで作柄が大きく上下し、病虫害に痛めつけられると、手の打ちようがないのが、昭和初年までの農業であった。

東北の農民詩人であった宮沢賢治の詩に、「寒サノ夏ハオロオロ歩キ」とあった。昔の農民たちは、神様にお祈りするよりほかに、何の手段もなかった。

金毘羅様は商売繁盛の神様だといわれているが、当地方では船の安全を祈る対象でもあった。大川を下っていく船が、年貢米を安全に領主のところへ送り届けてくれるようにと、無事を祈る神様であった。

雷電様は、時期はずれの暴風豪雨がないように、とんでもない日照り続きがないようにとお願いされていた。

「じよんのび」ということは、「順気が伸びる」という意味で、その時期その季節に合ったありがたい天候のことであった。

また、馬頭観音の数も多い。人々の暮らしといっしょに稼い



馬頭観音（室島）

でくれた家畜への感謝で祀られたものであろう。忘れられたように、山道の傍らなどにポツンと立っているのが憐れである。私たちの祖先たちは、自分の力が届きようもない大きな移り変わりについては、いろいろな神様仏様を大切に祈り続けるこ

おらうらの話

上野 上村 政基

（第三十三回）

とが、精一杯の生きる手段であった。

それだけに、人々の心がお互いに遠慮深く謙虚で、勝手に思い上がることなく、つつましかに生きていくことが本筋であったのである。

武田ヨリの頌徳碑

千手神社の近くに「頌徳 武田与理子刀自之碑」がある。刀自とじというのは、婦人を敬って呼ぶことばであるが、いまでは使われなくなった敬称である。

川西町役場に、白い大理石の



千手小学校の門柱

門柱が左右に立てられている。千手小学校にも、川西中学校の裏門にもある。「武田ヨリ」と彫っているのに気付いた人も何人かあるだろう。

武田ヨリは、長福寺三十世の禅智和尚夫人で、東頸城郡山平村（現松代町）から嫁いで来た。お寺の暮らしはまことにつましい（切り詰めた）ものであったが、ヨリ夫人の儉約ぶりは日常の細かいところまで気を配り、「人目も構わぬほどのケチだ」と言われるくらい、徹底したものであった。

寺の行事などで大勢の人たちが寄ってくるのは当然のことであるが、煮炊きする燃料はすべて自分が裏山から拾ってきた落ち葉や枯木を使い、皿・小鉢などを木箱に納めるときは、ひとつひとつ古紙で包むのが普通なのに、ヨリ夫人は木の葉を間に挟んで代用していた。

履くのはいつもワラ草履で、雨の中を裸足はだしで歩いていくのは当たり前のことだったという。

しかし、和尚が亡くなって隠居の立場になると、それまで貯めていたお金を、役場・学校・消防・神社などの公共的なところに寄付することが続き、「ケチ」と陰口かげぐちしていた人を驚かせた。沖立集落センター前にある霊木碑の建設にも多額の寄付をしている。

公共の寄付には進んで力を貸してくれたが、個人からの借金願いは決して応ずることがなく、「いつとき切きりながっている（一時的に困っている）」という人には、金を貸すもんじゃない。そういう人は、あとで楽になつてくると、恩を仇あだで返すようになってしまふもんだ」というのが口癖であった。

「勤儉力行に精進し、現代婦人の亀鑑である」と、県知事からも表彰され、役場が主導して頌徳碑が建立された。

頌徳碑と忠魂碑

川西町には、個人名を揚げた顕彰碑が少ない。

中村壮吉・根津正三町長の功績碑と、前述した武田ヨリ頌徳碑の他に、新町新田に丸山一平碑と名力士であった千草山碑がある。

仁田には、五升苗ダムの建設功勞を感謝する山田為四郎・戸田市郎右衛門・春日六右衛門碑があり、熊野神社境内にある力士碑は珍しい。木落三島神社には、医師の傍ら学塾を開いて指導した鶴寿道人之墓が、教え子たちによって建立されている。



仁田熊野社の力士碑

別な意味になろうが、永平寺貫首となった琢宗禅師生誕碑が、縁者の手で赤谷に建てられている。

そして、旧町村ごとに忠魂碑がある。

自衛隊の海外派遣が大きな問題となつている今日に、明治以来の戦争で犠牲となった人たちの霊を合祀してある忠魂碑が、わずかに残った遺族たちだけによって守られているというのは、まことに倅しい。

真剣に考えよう 合併について

27



今月号では、11月6日から11月28日に開催した12会場分の市町村合併住民懇談会での意見交換の内容を中心に掲載します。

なお、それぞれの会場で同じ質問が出されたものは、先に開催した会場へ掲載し、後の会場のものは割愛させていただきますのでご了承ください。

住民懇談会の様子をお知らせするコーナーは今回で終了します。参加していただいた住民の皆様に厚くお礼申し上げます。

住民懇談会通信 （第三編）

■仁田公民館（橘）

質問（男性） 各市町村の貯金の取り扱いはどうなりますか。

田口町長 各市町村が基金ゼロで合併すると動けなくなるので、標準的なものだけ持ち寄ることになっていきますが、母都市になる十日町市が不足しているようです。

川西町では二五億八千万円の

基金があり、目的に沿った使い方を考えていますが、組み替えも検討しなければならぬと思います。合併する場合に他市町村より多く持つて行くことは考えていませんし、使い道を明確にして持ち込むことを合併任意協議会で了解されています。

三万円の出産祝い金が廃止

質問（男性） 子供を生んだ時の助成や喜寿の祝いは続けてほしいです。

押木助役 五市町村の行政サービスを均一化するために調整しましたので、川西町で実施している第一子と第二子への三万円の出産祝い金は廃止され、第三子以降からの五万円の出産祝い金となりました。

また、喜寿の祝いについては、川西町だけの実施でしたので、廃止することになりましたが、他のお祝いは、川西町より水準の高いところに合わせたものがありますので、ご理解いただきたいと思っています。



11 / 6 仁田公民館

■岩瀬集落センター（仙田）

質問（男性） 川西地域の今後の方針について説明がありましたが、吉田地区や貝野地区も含め、より広い視野で発展を目指す考えはありますか。

田口町長 現状では川西町の区域のみの施策となっていますが、千手郵便局のエリアは広い地域を想定していますので、近い時期には一緒の範囲になることも考えられます。

アンケート調査の重みは？

質問（男性） 私は基本的に、三年後か四年後に合併するのであれば今だと思えますが、アンケート調査については、町や議会ですごく重視しますか。

また、住民投票の考えはありますか。

田口町長 アンケート調査については、参考程度ということではありませんが、賛成か反対かの考えを伺い、そのように考える理由も伺って傾向を調査するものです。

住民投票については、住民のみなさんや議会の意見が拮抗してきたら、最後の手段として実施も考えなければなりません。が、混乱を招く原因にもなりま

■室島集落センター（仙田）

独自の職員給与は無理か？

質問（男性） 職員給与は人事院勧告で決まるとのことですが、役場を一企業に例えれば、その企業にふさわしい給与体制にするべきと考えますが、新市では、独自の給与体系を取ることは無理なのでしょうか。

田口町長 公務員の給与体制は、地方公務員法で決まっています。十日町市と川西町の職員を比較すると同じく採用されても、年数が経過すると差がついてしまい、川西町がかなり低い状態です。基本は同じでも、昇給方法を各市町村で独自に運用



11 / 7 岩瀬集落センター



11 / 10 室島集落センター



11 / 11 川西町総合センター

していますので、大きな市ほど高い傾向にあります。

企業のような体制にはいかないまでも、五市町村それぞれ給与体制が違うので、合併効果が出るようにできるだけ低い町村に合わせることを考えています。

質問（男性） 他市町村の合併に対する状況はどうですか。

田口町長 母都市になる十日町市は合併した方が有利と言われています。津南町が自立することになったので、中里村や松之山町では「合併するのであれば津南町」という考えの人も多くいます。

川西町では、日常の生活圏が十日町市と一体化していますので、十日町市を除いては考えられないと思います。

質問（男性） 懇談会に参加する人は、五十歳以上が多いと思いますが、十年後、二十年後のことを私たちだけでは決められないと思います。

次代を担う人から決めてもらい、仙田地区を置き去りにしないようにしてください。

田口町長 若いみなさんから住民懇談会に大勢来てほしいと思っていますが、参加してもらえないのが実情です。

周辺地域の対策については、新市建設計画に振興基金や振興

策を盛り込めるよう職員一同で取り組んでいます。

■川西町総合センター（千手）

資料が不公平では？

質問（男性） 配布された資料の内容は公平ではないように思っています。

例えば、「合併したら中心地だけが栄えるのではないか」というデメリットについて、合併する市町村が対等な力を持っていることで、本来の対等合併になると思いますが、この地域の場合は、十日町市の規模が大きいことから、結果的には中心部が栄えて、どうしても周辺は寂れるのではないかと思います。そういうことが実際書かれていません。

田口町長 周辺地域の住民のみなさんが心配している「中心部だけが栄えるのではないか」について、交通の便や利便性が良いということになると、そこに投資する方が効率的であるということは自然の流れです。

しかし、周辺地域でも不便を感じさせないようにするために新市では、総合的な企画調整は中心地で行うにしても、地域の振興計画やまちづくり的な調整は、各地域の支所に専門の部署

を置き、地域の視点で地域づくりを進めるべきだと思っています。

あわせて、周辺地域の不安を取り除くような振興策にも取り組んでいきます。

質問（男性） 資料では自立することが大変難しいという傾向が強いように思いますが、それをもとにアンケートを実施すると、設問の方法によっては偏った回答が出ると思いますがどうでしょうか。

担当課長 アンケートの内容は、協議を進めている五市町村での合併の賛否とその理由を選んでいただきます。

また、合併について自由に意見を記載していただく欄を設けています。

意見（男性） 私が

指摘したかったのは、資料が公平でなかったということですが、特に自立した場合は厳しくて、合併以外に考えられない内容だったもので、川西町と同じ規模で、自立を目指している市町村があるとするれば、そここの比較を検討した経緯があれば良かったと思います。

地域づくりの責任は住民

質問（男性） 新市将来構想の川西地域に掲げられている計画を、川西町として今までに取り組めなかったのですか。

また、合併すると首長が不在になります。誰が責任を持つて計画を進めて行くのですか。

田口町長 新市将来構想で川西町を区域とした説明がありましたが、川西町として取り組んでいる方針がそのままであり、それに磨きをかけて行くことがこれからの農村のあり方であると考えています。



自分たちでブナ林を守り、環境対策に取り組む川西町らしさのひとつです



11 / 13 新町新田ふれあいセンター

誰がこれを後々まで責任を持つかについては、そこに暮している住民自身であると思います。そのための仕組みづくりとして地域審議会を組織したいと考えています。

■新町新田ふれあいセンター(上野)

支所は地域の拠点施設に

質問(男性) 川西町に支所を設置するという説明がありましたが、今よりも不便になるのではないかと心配です。

田口町長 支所の機能をどうするかが非常に大切になります。新市全体を総括する総務や企画などは本庁での取り扱いになると思いますが、支所では戸籍や住民票、税の証明書、福祉、保険などの窓口業務や、地域振興に従事する職員の配置など、地域の拠点施設として活用するようになりたいと思います。

質問(男性) 車の車検証にある所有者の住所などは変更する手続きが必要ですか。

担当職員 住民票を一通取ることによって分かれますから、名義の住所変更は必要ありません。**後日確認** 次回の車検までは川西町と表記された車検証でも有効です。また、車検後は新住所で車検証が発行されます。

ただし、車検までに新住所へ変更したい場合は住民票などの実費が必要になります。

質問(男性) 税金が少なくなる可能性はありますか。

田口町長 市になると均等割が一人二千元から二千五百円になり、年間五百円ほど高くなります。他は五市町村が同じ税率で賦課していましたので変わりません。

ただし、法人住民税については合併して四年後から段階的に高くなってまいります。

■野口集落センター(橋)

質問(男性) 合併することにより、負担が変わるものについて聞かせてください。

押木助役 合併任意協議会で約九〇〇項目の住民サービスや住民負担について調整を行いました。

その中で住民の生活に直接関係あるものについては、「合併の風」で、調整結果と五市町村の現状を掲載してありますのでご覧ください。

五市町村で異なるサービスや負担を調整しましたので、川西町のみ実施しているものは、合併後に廃止されるものもありますし、川西町になかった制度やサービスを受けられるようになります。

るものもあります。

質問(男性) 現在でもこの地域は川西町の最北端であり、合併すると更に中心地から離れて端になってしまうので大変心配しています。

田口町長 昨年から「周辺地域が取り残される」という心配が多く寄せられています。合併の歴史を振り返ると自然の流れとして、どうしても人口密集地に人や物が集まり、そこへ多様な施策が行われてきました。

そのことを大変心配していますが、新市建設計画の素案づくりの過程で、周辺地域の振興策を計画に盛り込み、今後具体的な検討に入っていきます。

『大魚沼市』構想を！

質問(男性) この合併が五市町村での小さな枠組みで進められていることが不可解です。合併を考えるのであれば、魚沼全体で「大魚沼市」を作り上げる構想を持つてほしいです。そうすれば津南町や湯沢町のようなことが起きないと思います。

田口町長 将来は魚沼で一つになるべきだと思ってきました。

しかし、地形が違いすぎて、段階的に進めるより仕方がないと考えたようです。今では合併協議の進み方が違いすぎて間に

合いません。

しかし、「大魚沼市」という構想は素晴らしいと思います。

■伊友公民館(千手)

質問(男性) 加茂市長が、地方交付税は今後とも実質的には減らないという説明をしています。地方交付税の一部を全て国が負担する臨時財政対策債を川西町は活用していなかったのですか。

押木助役 資料の一七ページの四本の柱の表がありますが、その黒く塗りつぶされた③の数字が臨時財政対策債です。

担当課長 交付税が減った分を補てんするようになっていきます。

十四年度決算で交付税が約一億円減っていますが、その部分を臨時財政対策債で全て補てんはしません。

質問(男性) これも減らされるという想定なのですか。

担当課長 今年は臨時財政対策債として三億円が交付されていますが、中間シミュレーションのBパターンは現行より約半分で試算しています。

■中屋敷集落開発センター(千手)

質問(女性) 新市での住所表示はどうなりますか。

真剣に考えよう 合併について



11 / 20 中屋敷集落開発センター



11 / 18 伊友公民館

押木助役 新しい住所の表示については、現在の「川西町大字中屋敷〇〇番地」が、「大字」を省略し、「〇〇市中屋敷〇〇番地」になります。戸籍や住民票は職権で修正しますので届出は不要です。

質問（男性） 五市町村が合併すると水道など基盤整備の面で格差がありますが、他市町村の状況はどうなっていますか。

田口町長 整備状況はそれぞれ違っており、川西町が最も整備が進んでいます。中でも特に顕著なものが下水道で、他市町村では十日町市と中里村が六〇％台、松代町、松之山町は山間地を除いて、整備ができる所は来年度ではほぼ完成するようですが、各市町村でこのようなバラツキがあります。

質問（男性） 今後の工事は合併した経費で進めていくのですか。また、借金は旧市町村で返済するのですか。

田口町長 合併後の設備投資は全体の中で進めることになり、借金の返済も新市で行うこととなります。



広域6市町村の交流拠点として活用が期待される「越後妻有交流館・キナーレ」

キナーレは大丈夫？

質問（女性） 十日町市長選挙ではキナーレの件で混乱しましたが、閑散としていて「本当に大丈夫なのかしら」と思いました。合併後は、この負担が川西町に来るのではないかと不安に思っています。

田口町長 合併を検討するうえで心配なことの一つです。赤字になれば新市でそれを補填しなければなりません。建設の際も十日町体質というか、中心地としてのおごりなのか、周辺地域に対して包容力を持って考えて

いただけない面があり、心配しています。

なぜ二つも「十日町」が！

質問（男性） 新市の名称ですが、九〇〇以上の応募の中で、二つも「十日町」がありました。が、候補に入れなくても良いと思います。

合併した場合は「十日町」ではなく、新市にふさわしい名称にしてほしいです。

田口町長 昨日の合併任意協議会で、松代町から「妻有」という呼称に違和感があるとの意見が出され、五候補の他に「美雪」を加えました。

みんなで新しい市をつくるのであれば、新しい名称で、合併後の地域づくりを進めるべきだと思います。

■川辺集落センター（上野）

質問（男性） 合併して支所が設置されても、十日町市へ出かける回数が多くなると思いますが、利便性を高めるために放水路の橋が必要ではないでしょうか。

田口町長 妻有大橋への道路は以前からの要望であり、必要性も高いと思います。また、合併特例債を利用しやすい事業でも

あることから、合併することで着手しやすくなると思います。町として新市建設計画に載せていきたいと考えています。

意見（男性）

説明を聞くと川西町だけでは限界があると感じました。後からの合併は不利だと思います。

田口町長 新潟県自体も財政がひっ迫していますので、今後は大きい市を主体とした県政の運営になると思われます。

人口の減少などを考えれば、川西町も合併を避けて通れない状況です。ならば早い時点で、どのような地域づくりが良いかを前向きに研究することも大切だと思います。

**住むなら川西町
朝日がうらやましい**

質問（男性） 新市将来構想では川西町の位置付けとして、工場団地と住宅や公営住宅の建設を進めるとあり、合わせて農業も大事にして行くとの説明ですが、農業振興法などの法律の中で本当に可能ですか。

田口町長 工場団地については、誘致企業が点在している状況にあるので、それをまとめた方が効率的ではないかと考えています。

公営住宅については、「住む



11 / 23 川西町総合センター



11 / 21 川辺集落センター

のなら川西町の方が良い」と十日町市の人からよく言われます。向こう側から川西町を見ると、東向きで朝日が当たることを大変うらやましく思っているようです。それで公営住宅等を増やし、川西町はベッドタウン化ということを考えていくべきと思っています。農業振興法との絡みもありますが、農地の中心に造成するわけではないので工夫しだいで何とかかなると思います。

■川西町総合センター(千手)

国は更に厳しい姿勢で

質問(男性) 加茂市長の講演を聞く機会があり、交付税については、町と違った考え方のようでした。

慌てて合併しなくても、しばらく諸般の事情を研究し、時間をかけて判断した方が良いのではないでしょうか。

田口町長 交付税に代わる財源については、まだ決まっていませんが、国では平成十七年三月の合併期限を延長することはないようです。また、合併期限までに合併の意思決定をせず、次の段階で

合併した場合は、有利な財政措置はしないとしています。

地方制度調査会の最終答申が発表されましたが、根幹となる部分については決して緩めてはいませんでした。

特に期限を過ぎると、国県では人口一万人以下の合併をしない小規模町村に対して強く勧告を勧めることがはつきりと出ています。

川西町も三年や五年は色々な工夫をやって行けると思います。が、十年や十五年後になって、国からの勧告を受けてからの合併では、近隣の大きな市に編入になってしまいます。

それでは今までの川西町の施策が何も無くなってしまいます。数年後に編入合併になるよ



合併反対の立場で注目されている小池加茂市長

うであれば、今のうちに積極的

に合併協議を進め、地域にとつて有利な条件を模索しながら、合併特例債を有効活用できるうちに合併した方が良くと考えています。

質問(女性) 町からアンケートが届き、軽はずみに回答できないとの思いから、合併懇談会に参加しましたが、説明を聞いて良かったと感じています。

アンケートは有権者の三分の一のことですが、なぜ全員にしないのですか。

田口町長 アンケートを全員にしてみようと、住民投票と同じような効力を持つことになると思います。

アンケートに回答いただく方が、住民懇談会に参加をされて、合併問題の根幹をご理解いただいたうえで回答いただければ良いのですが、大部分はその時々

周辺地域の安定が肝心

のマスコミや声の大きい人により、意思表示が変わりやすいと考えられ、明確な回答が得られない危険性があります。

そこで、住民のみなさんの意向を確認できる人数として、世帯数や有権者の約三分の一をめぐに、二、二〇〇人を対象に実施することに踏み切りました。

質問(男性) 私は、絶対に反対ではなく、まだ精査しなければならぬ部分が、合併資料に掲載されていないのではないかと思います。

例えば、合併すると建設業や飲食店がどうなるかなど、具体性について説明が足りないと思います。

田口町長 常々言っていることですが、周辺地域が安定しないようでは、人口密集地の発展はあり得ないと考えています。

周辺地域でいかに安定した暮らしが営まれるかによって、商店街なども安定するので、周辺地域をおろそかにするような施策は、中心地もだめになると思います。

意見(女性) 出かけた時に、「あなたは魚沼なんですね。お米が一番おいしい所ですよね」ということを必ず言われ、本当にうれしくて、誇りに思います。

やはり「コシヒカリ」なんだと思いますので、そういうものをイメージした新市の名称にしたいと思っています。

■橘地区農事研修センター(橘)

質問(男性) 合併をしないことに決めた市町村が、「合併しなくても何とかやって行ける」と考える根拠は、どのようなこ

真剣に考えよう 合併について



11 / 28 Aコープ白倉店



11 / 27 橘地区農事研修センター

とが挙げられますか。
何か良い方法があるにも関わらず、この懇談会で内緒にして
いるのではないですか。

田口町長 人口一万人以下でも
財政力があり合併をしない町村
は、湯沢町や刈羽村などです。

また、小さくても自立するこ
ろは、ある程度の基金もある
と思いますが、今後の負担が増
えても「何とかやって行けそ
う」、国が「交付税や補助金を
減らす」と言っても、今までと
同じように「何とかしてくれ
る」、「我々を見捨てることはし
ない」という考えがあるのでは
ないかと思っています。

国の方向も明確になりました
が隠しているものは何もありま
せん。

川西町だから出来た 川西町では出来ない

質問（男性） 私は合併をしな
ければならないと思います。

今の川西町を見ると、やはり
合併して良かったと思われます
が、広域事務組合などいくつか
の市町村が一緒にならないと取
り組めない事業もあります。

このことを考えると、どうし
てもある程度の規模にならないけ
ればいけないと思います。

田口町長 ほ場整備や川西ダム

などへの取り組みは、川西町と
して四町村が一つになったから
こそ出来た事業だと思っています。
これから私たちが早急に取り
組まなければならないことは、
高速情報通信網を整備すること
です。これは高速道路や新幹線
の次に、日本を変える産業基盤
だと言われています。これに取
り組むためには、川西町単独で
はとても出来ません。

■Aコープ白倉店（仙田）

質問（男性） テレビや新聞で
子どもたちの犯罪が頻繁に報道
されていますが、教育や家庭環
境にメスを入れていく必要があ
ると思います。

私は人づくりをしつかり行
い、一人ひとりが向上心や研究
心などをもち、自分の市をみん
なで考えれば、他に負けない新
市づくりに結びつくと思ってい
ます。

今の我々の時代を考えると、
ではなく、次の時代を考え、金銭
ではなく、人づくりを重視して
行かなければいけないと思いま
す。

居場所があることが本 当の幸せ

田口町長 教育問題では大変な

出来事が毎日のように報道され
ています。戦後の教育が本当に
これで良かったのか問われてい
るように思います。

環境が良く成り過ぎて、何で
もお金で解決できるということ
が、間違いではないかと思いま
す。本当の幸せとは何だろうか
を問い詰めて行く時期が来てい
るのだらうと思います。

本当の幸せ感というのは、自
分の居場所があり、自分のやる
仕事がある、そういうことなの
ではないかと思っています。お金が
あるとか無いとかでなく、自分
の居場所があるというのが自分
の幸せにつながってくるのでは
ないでしょうか。

それゆえに、人を待っていた
のではダメなので、自分で動か
なければ、それは解決しないの
だらうと思います。

質問（男性） 説明を聞きたび
に、寂しさや不安もあります、
合併に向って進まざるを得ない
という感じがします。

末端に住む者にとつては、不
安な生活を余儀なくされますの
で、道路や通信などに一生懸命
に取り組んでほしいと思います。

中心部には分からない厳しさ
がありますのでお願いします。

田口町長 人口密集地というの
は低い所と同じで、黙っていて
も水が流れていきます。

周辺地は、その地域で声を出
し、汗を流して何かアクション
がないと、自然には出来ないこ
ともあります。

国道四〇三号については、こ
れからも要望しながら一生懸命
取り組んでいきますが、これは、
ルールに乗っているのに、怠り
なく進めて行きたいと思いま
す。

また、国道だけではなく、野
口への観光道路についても、地
域のみなさんからの声が大切な
ので、途切れることなく声を出
し続けてください。

お知らせ

『合併の風』を
休刊します！

合併任意協議会での
事務事業の調整結果を
お知らせすることを目
的に発行してきました
「合併の風」を、しば
らくの間休刊します。
今後、法定合併協議
会に参加し、住民の皆
様に情報をお伝えする
機会が訪れましたら、
発行を再開しますの
で、ご了承ください。

催し

川西町保育園・小学校 かけはし懇談会

■日時 一月十七日(土)
午後一時～四時半

■会場 川西町総合センター

■内容

【第一部 かけはし講演会】

○講師 吉原久美子先生

(糸魚川幼稚園副園長)

○演題 「子育てはだれがするの
でしょうか?」

【第二部 本音で語ろう】

小グループに分かれてお茶を
飲みながら、子育てや大人の役
割など、日頃感じていることを
自由に語り合ってみましょう。

■問い合わせ

教育委員会 ☎ 68-2167

精神保健福祉講座開催

精神障害についての正しい知
識を普及し、地域住民の精神障
害者に対する理解と偏見の除去
を図ることと、支え合うことの
大切さを知っていただくことを
目的にしています。

民生委員、児童委員、ホーム
ヘルパー、一般住民等大勢のご
参加をお待ちしています。

■日時・内容等

第一回 一月二十日(火)

午後二時～三時半

【講師】 精神障害者通所授産施
設「梨の里」の皆さん

(月潟村)

【演題】 「地域で生活してい
る仲間達」

る仲間達」

第二回 二月二日(月)

午後二時～三時半

【講師】 中条第二病院精神科医
師 山下正廣氏

【演題】 「統合失調症という
病気を理解する」

【会場】 川西町活性化センター
四階 第一研修室

■問い合わせ

けんこう支援課健康推進係
☎ 68-4958

教室

ＩＨクッキンググリー ター体験料理教室

「お正月素材をアレンジして！」

■期日 一月三十日(金)

■時間 午前十時～午後一時

■内容

・蓮餅のお雑煮
・とり手羽元の甘煮
・なますのヨーグルトサラダ
・りんごきんとんの春巻

■申込締切 一月二十六日(月)

■ところ 東北電力㈱十日町営

業所クッキングスタジオ「エ
プロン」

■申し込み・問い合わせ

東北電力㈱十日町営業所お客
様センター
☎ 52-3107

募集

十日町市高等職業訓練 校入校案内



■募集締切 三月十日(水)

■受付時間 午前八時半～
午後五時

■募集科目・定員等

(下表参照)

■申込方法 入校申込書に必要
事項を記入・押印し、写真一
枚(免許証程度の大きさ)を
添付して申し込みください。
※希望者には、入校申込書を郵
送します。

■問い合わせ・申し込み

十日町市高等職業訓練校
〒948-0003
十日町市大字新座甲二八一
一 ☎ 52-3803

科 目	定員	期 間	内 容	経 費
建 築 製 図 科	10人	6か月	「2級建築士」受験希望者又は設計の基本をマスターしたい方を対象に、設計製図の技能を習得します。	授業料 55,000円 テキスト代 9,500円
コンピュータ科	15人	6か月	パソコンの初心者を対象に、ワード・エクセルなどの操作方法を中心にパソコンの基本操作を学びます。	授業料 85,000円 テキスト代 8,500円
ワ ー プ ロ 科	8人	4月コース	初心者を対象に、パソコン上でワープロソフトの「Word」を使い、パソコンの基礎知識から編集を学びます。	授業料 15,000円 テキスト代 4,000円
	8人	6月コース		
	8人	9月コース		
表 計 算 科	8人	4月コース	初心者を対象に表計算ソフト「Excel」を使い、表計算・グラフ・データベース操作等を学びます。	授業料 15,000円 テキスト代 5,000円
	8人	6月コース		
	8人	10月コース		
経 理 事 務 科	10人	8か月	簿記の基礎知識から記帳練習など、実務に必要な複式簿記を学びます。	授業料 45,000円 テキスト代 3,000円
測 量 科	15人	3か月	レベル・トランシット・平板などの基本操作から、応用測量までを学びます。	授業料 43,000円 テキスト代 2,000円

春休み海外研修事業 参加者募集

春休みに小学生・中学生・高校生を対象にアメリカ・オーストラリア・イギリスへの海外研修事業を実施します。現地学校への体験入学、語学研修、地域住民との交流、雄大な自然体験などを通じ、国際社会に対応できる青少年の育成を目的としています。

また、安全で安心して海外に行けるよう指導者が必ず引率し、公益性の高い国際交流事業を実施いたします。

■資料請求・問い合わせ

NPO法人国際教育文化交流協会

〒一〇二一〇〇七三

東京都千代田区九段北一―二―八 プレール九段一〇〇二

☎ 03―5213―3088

◆電話が変わりました◆

携帯電話等の普及により使用頻度が低いことから、役場庁舎、総合体育館、国保診療所に設置されている公衆電話（緑電話）がピンク電話に変わりました。このため、テレホンカードが使えなくなりましたので、ご注意ください。

その他

食用コイ・錦鯉の養殖業者、コイ飼育者の皆様へ

～コイヘルペスウイルス

（KHV）病対策について～

コイヘルペスウイルス病が全国的に広がっており、新潟県でも感染したコイが確認されました。本病は、感染力が強く高い死亡率を示し、一生産者だけでなく地域全体の問題ともなりかねない恐ろしい病気です。（コイ以外の魚や人体への影響はありません。）

新潟県におけるまん延防止のためにもコイを飼育している方は次のことをお願いします。

1 コイの移動の自粛

県内産・県外産を問わず、コイの移入を自粛し、自ら養殖あるいは飼育しているコイについても出荷や移出を自粛してください。

2 最近移入したコイがある場合の隔離飼育の徹底

最近になって移入したコイがある場合は、その他のコイと隔離して飼育するようにしてください。また、移入コイの飼育水についても、その他のコイと接触しないよう注意してください。

3 異常があった場合の連絡

大量死やへい死等の異常が発生した場合には、直ちにご連絡ください。

■連絡先 農林振興課振興係

☎ 68―4954

一月は

「食を考える月間」です

みなさんは、「食」について考えたことがありますか。

農林水産省では、平成十五年から毎年一月を「食を考える月間」とし、「食」に関するさまざまな情報の受発信やイベントを開催するなど、みなさんに広く「食」について考えていただくための取り組みを進めています。

本年一月についても、次のようなことを予定しています。

- ①食に関するシンポジウム、意見交換会の開催
- ②「消費者の部屋」等での特別展示
- ③食の体験学習の実施
- ④広報紙やメールマガジン等による情報提供

これらの取組予定については、北陸農政局のホームページに掲載してありますのでご覧ください。

■ホームページアドレス

<http://www.hokuriku.maff.go.jp/>

「はたちの献血」キャンペーン実施中

新たに成人式を迎える「はたち」の若者を中心に広く献血へのご協力とご理解をお願いするために、一月一日から二月二十九日まで全国一斉に「はたちの献血」キャンペーンが行われています。

またこれは、献血者数が減少する冬期間の献血者及び安全な血液の確保を図ることも目的にしています。

血液製剤の多くは高齢者の医療に使われ、献血者は二十歳代を中心に五十歳未満の若い世代が大半を占めています。今後、献血者層の人口が減少し、献血者の確保が難しくなる一方、医療技術の進歩や少子高齢化により血液の需要が増加し、必要とされる血液が不足することが予想されています。

血液は人工的に作ることができません。皆様の善意で献血にご協力をお願いします。

県内では、献血バスが各市町村を巡回しているほか、次の三か所の献血ルームで毎日受付しています。

- *長岡きたまち献血ルーム
- *東堀献血ルーム
- *献血ルームばんだい

町での実施予定

■実施日 三月二日（火）

■場所 保健センター

■受付時間 午前九時半～十一時半

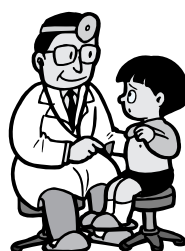
午後一時～三時

■献血方法 全血

■問い合わせ

けんこう支援課健康推進係
☎ 68―4958

小児科の開設について



川西町国保診療所では、一月五日より左記のとおり小児科を開設しました。

診療していただくのは魚沼病院小児科医長をされている西澤和倫先生です。西澤先生は「ぜん息」や「アレルギー」を専門とされています。

■診療日

毎週月曜日（祝日及び祝日の振替日を除く）

■受付時間

午後一時半～五時半

■診療時間

午後二時～六時



十日町地域高速 通信体系整備構想

3

十一月号から三回に分けて、

十日町地域広域行政圏で取り組んでいる「十日町地域高速通信体系整備構想」についてお知らせしています。

「※」印は、用語解説を参照してください。

○情報化による多様なサービス

地上波デジタル放送対応のCATV、圏域内無料のIP電話※1、安否確認防災情報のIP告知、全家庭での高速インターネットサービス。または、行政情報の提供や、学校の授業で子供たちが使うインターネット環境の整備、六市町村の図書検索システムなどのサービスを、各家庭まで繋いだネットワークを活用して提供したいと考えています。

情報化することで私たちの地域は将来どのように便利で安心・安全で幸せな地域へと変わるべきなのか、様々な視点から検討中です。将来に向けて考えられる情報化の分野の一例をご紹介します。

●防災

- ・大規模災害時の緊急通報・安否確認システム
- ・Webカメラによる防災監視（雪害・土砂災害等）

●行政

- ・二四時間三六五日開かれ、電子により各種申請、入札、投票などが可能な自治体

●教育

- ・圏域内全ての小中学校生徒がインターネットが利用できる環境

●保険医療

- ・在宅患者の遠隔医療ケア、診療の電子予約
- ・公共運動施設の情報・予約サービス

●福祉

- ・ひとり暮らしの高齢者や障害者等に対する安否確認システム
- ・保育所や児童館及び育児相談等の情報提供
- ・障害者・高齢者に対応した情報システム・機器の導入

●新産業創出

- ・地域内の住民や企業が一体となって参加する地域ポータルサイト※2の構築

- ・地域内で行う新規情報化システムの研究・開発の支援
- ・情報化に対応した優遇制度の創設、人材の確保や養成等

●既存の地域産業支援

- ・IT関連産業への効果的な支援
- ・農家など既存産業の情報化に対する支援
- ・異業種間などの情報交換の場の提供

●コミュニティの創生

- ・子育てや趣味、世代交流など様々な仲間づくりの支援
- ・コンピュータの操作等の支援を行う情報ボランティア制度を設立
- ・さまざまなニーズに合わせたIT講習

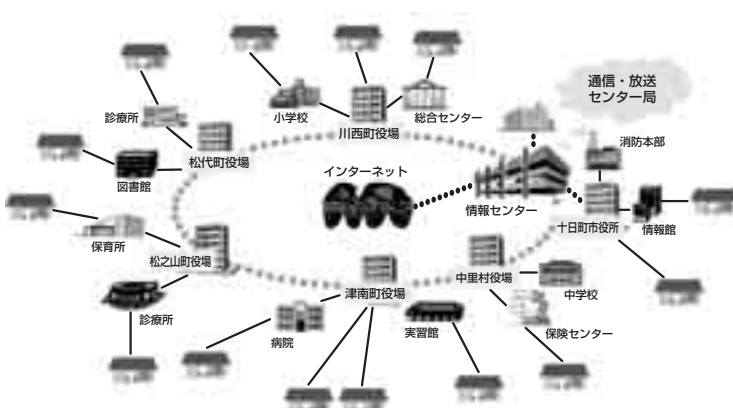
●地域気象・交通情報

- ・気象状況や交通状況のリアルタイム表示
- ・安全・安心のバリアフリールートの表示や事故・災害時の緊急連絡手段の提供
- ・ピンポイントでの気象情報など

○今後のスケジュール

現在、十六年度に整備予定の公共機関ネットワーク（地域インターネット）基盤施設整備事業（の補助を国に要望しています。また、各家庭までのネットワークの仕様を決定するネットワークビジョンは平成十五年度

末までに策定される予定です。各家庭までのネットワーク整備で予定している「新世代ケーブルテレビ施設整備事業」補助申請には住民の皆様の意向調査を必要とされているため、ネットワークビジョンがまとまった段階で説明会やアンケートを実施させていただきます。地域の皆さんのご協力をお願いいたします。



【ネットワークイメージ図】

《用語解説》

※1 IP電話

電話をかける相手との間の通信経路を、インターネットで利用されているIP技術を利用した電話ネットワークのこと。IP電話で利用しているネットワークでは1つの回線を多数の会話で併用できるなど従来の電話よりも回線の使用効率が高いため、全国一律の低いコストでのサービスの提供が開始されている。最近では公衆電話サービスと通話を可能にする「050」局番を付与することで全国的に急速に拡大してきている。

※2 ポータルサイト

インターネットの入り口（Il port）となる巨大なWebサイト。利用者がその場所（Ilサイト）から地域情報や特定のジャンルなどへ入れるインターネット上の情報総合入口のこと。地域の情報発信基地として「地域ポータル」などと称される場合もある。

「地域に愛される生徒、期待される川西高校を目指して、楽しく元気で、みんなで力を合わせて有意義な高校生活を築き上げよう」。新年に当たり、学校としての今年の目標です。

二七年前に地元・県立の高等学校をということで、川西町をはじめ、多くの皆様からの要望と期待を受けて出発した川西高校です。しかし、少子化と周囲の環境の変化により、学級数も減少し、必ずしも期待どおりではない状況になっていきます。

このままでは、地域の皆様の期待や先輩達の実績が水の泡になってしまうというところ、現在の高校生活を有意義に楽しく、進路希望や夢の実現が出来る、という不安が生じています。

現在、各学年三学級と全体の人数が少なく、これは全体の活力の不足とはなりますが、生徒

それぞれに、良く目が行き届くということでもあります。加えて、国語、英語、数学ではクラスを半分にして授業を行っています。質問もしやすいし、先生の方も理解の度合いが分りやす



いというメリットがあります。勉強が充実すれば、生活習慣にも自覚と余裕が出てくるものです。

また、本校では進路希望も、大学進学、専門学校、就職と

様々です。これらに対しても各自の希望に合った対応をしていくことができます。基礎学力の定着とともに、進路希望の実現は特に大切にしています。

一方、服装や頭髪、通学時の様子などについては、爽やかで高校生らしくあることを心掛けています。

校内ではもちろん、地域の中でもあいさつがしっかり出来る、心豊かな生徒になってほしいと思います。

本年は部活動の充実を図り、個性・特技を伸ばす中での人間関係を学び、ボランティア体験活動、企業体験活動などで、心豊かな人づくりを目指していくと努力しています。

生徒の進路希望が実現し、楽しい高校生活が送れるようになれば、自然と「地域に愛され、期待される川西高校」も実現すると思います。

目標に向かって、生徒と職員が一丸となって頑張ります。

ボランティア体験活動及び企業体験活動、通学途中など、川西町の皆様のご指導とご協力をお願いいたします。

チームアップ 役場 No.32

攻防最前線！



テーブルを挟んでの話し合い…。

よくある打合せ風景のようですが、内容は平成十六年度予算をめぐる攻防戦、いわゆる「予算査定」です。

毎年、次年度の予算編成は十一月に始まります。各課で事業計画を立てて予算を見積もり、十二月始めに財政担当課（総務課）に要求書を提出します。財政担当では、歳入

歳出のバランスを考えてなるべく出費を抑えようとし、対する事業課は、そうはさせじと事業の必要性と金額

の妥当性をあの手この手を駆使して説明します。

どちらの主張にどれだけの分があるかで金額が決まります。十二月の総務課長査定から一月の町長査定を経て、三月議会で議決されるまでの長丁場です。だから、決まった予算にはそれだけの重みがあります。

ちなみに、来年度予算要求時の歳入と歳出の差は、約十二億円も歳出がふくらんでいました。これをゼロにするための攻防戦が今も繰りひろげられています。

祝 50 万人達成！ ～千手温泉・千年の湯～



左から田口町長、高橋さん、酒井さん、庭野さん

昨年十一月二十三日にオープン二周年を迎えた千手温泉・千年の湯が、十二月四日に入館者数五〇万人を達成しました。

五〇万人目となったのは高橋定一郎さん（56・神社町）で、「昨年までは毎日来ていた。今年になって週三回くらいかな」と熱心に温泉通いして幸運を引き寄せました。

前後賞は庭野文子さん（57・

十日町市赤倉）と酒井直春さん（66・中屋敷）で、よく来るんですか？の問いに「はい、ここのお湯が気に入ってねえ」と魚沼産コシヒカリ、小嶋屋総本店のそばセット、松乃井清酒など抱えきれないほどの記念品を手喜びを語ってくれました。

「皆さんに可愛がってもらってありがたいです」と社長の田口町長もにこやかでした。

新種そば「とよむすめ」の評価は？

十一月三十日、仙田体験交流館で、「川西そばまつり」と題した催しが開催されました。

これは、新しいそば産業の創造をめざして栽培した新品種の試食を兼ねて行われたもので、北海道産のそばと新品種「とよむすめ」を食べ比べて、どちらがおいしいかを投票してもらったもの。

午前十一時の開始とともに、野外に設置されたそばゆで場には長い行列ができ、用意された二〇〇食あまりは約一時間で完食されました。

試食会場となった交流館では、「おいしいね」「どっちが？」「どっちも」「それじゃ食べ比べにならないよ」（笑）など、賑やかな声が飛び交っていました。

食べ比べの結果は表のとおりで、すべての項目でとよむすめが上まわりました。

この結果を受けて、「町では今後、とよむすめ」を奨励していく予定です。参加していただいたみなさんに感謝申し上げます」と担当の農林振興課の関係者は、満足そうに語っていました。



う～ん、どっちもうまいな～

●川西そばまつり／食べくらべ結果

（単位：人）

項 目	とよむすめが良い	北海道産が良い	同じである	計
外観（色つや）	117	46	45	208
のどごし	139	47	22	
風 味	84	67	57	
総合評価	124	54	30	

ジャワ更紗の職人が星名家を訪問

12月11日、インドネシア国立染色研究所からの訪問団が、国重要文化財星名家住宅を訪れました。

これは、十日町市の織物会社の紬素材とインドネシアのジャワ更紗の染色技術を融合させて開発した着物の帯が取り結んだ縁で実現したもの。日本の伝統的な文化や住宅を見学したいと、当日は5人が来訪しました。

一行は、星名家の重厚な空間や真綿を塗り込めた壁、100年以上前の着物や布見本に熱心に見入っていました。



「星名家」には全員興味津々の様子でした



郷土の味を親子で 楽しみました

《渡辺砂恵子さん（仁田） 発》

十

一月二十九日、川西中学校で「二年学年親子行事」が行われ、生徒、保護者、教職員合わせて九一人が参加しました。同年では、昨年郷土の民芸品として「ちんころ」を親子で作りました。また郷土料理についての講演会や学習も重ねてきたことから、今回PTA行事「郷土を知る第二弾」として、親子で「あんぱ」作りを行いました。



「あんぱ」

作りについては、役員も経験が無く伊勢平治の星名敏さんから事前にご指南を受け、当日は役員指導のもと生徒が中心にな

って作りました。

指導した役員は、「子どもたちの方が手つきが良い。こねるのも、あん（中身）詰めも堂に入ったもの」と感心し、「総合学習などで田植え、稲刈り、様々な地域に関する体験活動を小さな頃から経験しているから、お母さんたちよりも、物知りなのかもしれない」と驚いてい

なかなかの出来だったね！ そば打ち体験

《押木豊彦さん（元町） 発》

初

めてにしては「なかなかの出来だったね」のことが飛び交う新そばを味わう会となりました。なんせ、自分でそばを打って食べるなんて...なかなか出来ることではないですから、まして子どもを育てる会で試みようということですから。

そもそも、この企画は「八月種まき・九月開花の見学・十一月収穫・十二月試食」という四か月間に渡っての企画でした。絶好の種まき日より（流しそうめん付き）・花の見学天候不良によりイマイチ・収穫思ったより少なかった・フィニッシュ新そばを味わう会「なかなかの出来だったね」。

一・三学年（こねる・のす・パスタマシンでニョロニョロ）、四・六年生（こねる・のす・そば切り包丁で切る）、みんな初めてなのに結構手際が良かった。そして試食、ゆであがったそばは「しこしこ・つるつる」、手打ちならではの

ました。

各家庭から持ち寄った野菜やキノコで作った「キノコ汁」と一緒に郷土に伝わる素朴な味に舌鼓を打ちました。参加された方からは、「こんなに簡単なら家でも作れる」「いっそ雪まつりにみんなを出店する？」と賑やかな声も出て、親子で楽しい一時を過ごすことができました。

食感です。

「もうもう

最高」、そ

ば屋さん顔

負けって感

じです。

「終わりの

ければすべ

てよし」っ

てやつです

よ。

ご指導く

ださいまし

た岩瀬の金

子・赤谷の

登坂・上野

の三巨匠、

大変ありが

とうございま

した。

上野地区子

どもを育て

る会では、

子ども・保

護者の皆さ

んとともに、



これほんとにそばになるの？ もちろんなるよ！

な体験が出来る行事をこれからも計画しております。
よい子はドンドン参加してちょうだいね。



⑫ 川西町 体育協会

協会加盟団体の紹介

川西町陸上競技協会

陸上協会の活動としては、毎年、体育協会主催で行われる町民マラソン大会の共催として大会運営を行うほか、小中学校・高校主催の各種陸上大会等への役員協力を行っています。

また、十四年度より、小中学校を中心とした陸上教室を開催しています。

川西中学校では、十四年度に南雲敬太郎が二〇〇mで中学校北信越大会に出場しましたし、十五年度は四×一〇〇mリレーで高橋佑太郎君、川崎将幸君、宮友宏君、根津裕太郎君、星名貴弘君、田口航君が四位に入賞しています。



今後より多くの優秀な選手を出すため、小・中・高校を一貫とした練習、または応援が出来るようかんばりますので、地域の皆様の応援をよろしく願います。

写真の横断幕は、川西町出身の商業書道家平野壮弦さんから書いていただいたものです。

●お問合せ先 川西町教育委員会内 川西町体育協会事務局
(電話 68-2167)

正月のごちそうもなくなり普段の食生活にもどりました。

それにしても何十年間の間に食生活は大きく様変わりして食べたいと思うものは何でも食べられる生活になりました。

「普段から鮭も食べられるし、刺身も食べられる。一年中盆と正月のようでも何を食べたいかと聞かれても特にこれが食べたいというものがない」そんな言葉をよく耳にします。

まさに飽食の時代ということでしょう。

今、昭和三十年代がブームになっているとか。

そのころの大晦日というより、「年とり」は、煮物、黒豆、なます、などなど新巻鮭を一人ずつ、串にさして「じろばた」で焼いてそれを食べて、一つ年をとる。そんな「年とり」をして、新年をむかえたことが懐かしくな

一年の健康は食事から



ります。ごちそうであった塩鮭も一年中安く手に入り「年とり魚」ではなくなっていました。それでも正月は煮物に、黒豆、なますなど昔ながらのごちそうが並びます。

生活習慣病のもとになります。どの食品を選んで、どのように食べるか個人個人が知識をもたないと住民検診や人間ドックで指摘を受けることになります。

スローライフ・スローフードという言葉に耳にしますがこれも、昭和三十年代とつながるものがあるのではないのでしょうか。

毎日の生活は、時間に追われる日々ですが、インスタント食品やサプリメント(栄養補助食品)に頼らずに、

＊おいしい川西米を主食に
＊魚や・肉・卵・豆腐を使って主菜をつくり

＊越冬用の大根や白菜、キャベツ、それに春菊やほうれん草など緑黄色野菜を加えて副菜を作り

＊家族そろってゆつくりと楽しく食事をしましょう。

善意

(敬称略)

福祉に
野 沢 正 (野 口)
中 條 セ イ (岩 瀬)
五万円
三万円

上 原 麻 未 子
片 桐 海 悠 理 洋 介 赤 谷
丸 山 夢 羽 一 哉 野 口
中島町

戸籍の窓から

昇天—ごめい福を祈る

中 村 茂 一 85 (本 人) 坪 山
野 沢 セ キ 88 (正) 野 口
永 井 正 雄 89 (本 人) 木 落
蔵 品 マ ス イ 94 (清 市) 霜 条
星 名 義 則 60 (本 人) 学 校 町
南 雲 林 三 77 (本 人) 発 電 所 通 り 西

うぶ声—おすこやかに

木 村 日 和 孝 子 仁 田
秦 野 祥 吾 純 正 彦 上 野
小 野 塚 日 和 文 正 子 則 みのり団地

高砂—ご円満に

田 中 力 南 台
喜 多 美 由 紀 中 島 町
高 橋 和 也 坪 山
田 中 恵 梨 香 小 白 倉

(12月1日—31日届け出順)



かわい俳壇

高崎正風選

石仏の遠目伏目や雁渡る
初鴨の泳げる向きのさだまらず
いさかきも時には楽し障子貼る
郷関を出て五十年今朝の春
開戦日語る人なく年暮るる
新町新田 若山 向山

越後路の家々しかと雪囲

練馬区 須藤 遊人

葱だけが青々並び皁寒し

年賀状出したき友のみな逝きし

農協の歳末売りに人多し

八王子市 松浦 サク

奥深きゲートボールや年始め

大椀にバナナ寝ている闇夜汁

父遠く母なほ遠く雪の降る

霜条 星名 星光

書初や丈山作の富士一首

神の杉疇としたり初鴈

杉の秀の雪蹴散らして初鴈

上町 高橋 願似

どっと来て四五羽づつ翔ち初雀

去年今年達者で暮し老夫婦

雑煮餅糸を引きたるねばりかな

山野田 中條 石平

短日や受話器落とせしこと詫びて

柿赤しいつかは消える命なる

初霜や病院食に少し慣れ

中屋敷 金子 鉄平

木枯しの頃野沢菜の味ごろに

霜月といわれて霜の厚々と

高原田 須藤 キミ

お降や郵便受けを拭き清め

日の暮の雨風絶えし枯蓮田

お年玉用意やあの子この子へと

美容師の世辞を聞きつつ初鏡

春の雪障子を開けて眺めけり

一村は眠りて雪の天地かな

書を閉じて静かに夜長始まりぬ

雪降りて農の終りとなりけり

まず祈る世界平和や初詣

老いを知ること多かりし去年今年

お互いの元氣確かも賀状かな

お年玉孫の笑顔のいとけなや

満開の山茶花にふと立ち止まり

葉牡丹の円やかなりし渦の色

初夢の起きて忘れてしまいきり

寝正月旅の写真と歳時記と

野口 村越 由喜

岩瀬 登坂伊智子

小白倉 田中 優美

江口みゆき

田畑 吉治

波京

澄代

優美

休日救急医

1月11日 山口医院
(十日町市袋町中)
☎ 52-2174
12日 大坪医院
(十日町市四日町新田)
☎ 57-6100
18日 庭野医院
(十日町市寿町4)
☎ 52-2711
25日 本町クリニック
(十日町市本町3丁目)
☎ 50-1160
2月1日 石川医院
(津南町上郷宮野原)
☎ 66-2061
〃 中条病院
(十日町市北原)
☎ 57-3018
8日 せき整形外科
(十日町市四日町第2)
☎ 50-1155
11日 富田医院
(川西町発電所通西)
☎ 61-0200

■表紙の写真

「光の館」は、日の出前と日没後に光り輝く姿になります。中に入ると、もっと不思議な体験ができます。本年もそんな年にしたいですね。

? 町勢要覧クイズです?

「2003 町勢要覧」に記載されている内容を中心にクイズを出しています。

< 節黒城主上野氏のライバルだった下平氏の居城は? >

ヒント: 全戸配布した町勢要覧をよく読んでください。

おわかりの方は、はがきに「解答」「住所」「氏名」「電話番号」を明記のうえ、〒948-0192 川西町役場総務課文書広報係までご応募ください。

正解の方に(多数の場合抽選で)ステキなプレゼントをいたします。

●締め切り… 1月23日(金)

< 12月号の答え >

「新田義宗」又は「里見氏」

今回の正解者は南雲昭夫さん(横浜市)お一人でした。南雲さんには記念品をお送りします。

小さな展覧会

180

千手小学校



「楽しい遊園地」
4年生 中條文音さん



「セロひきのゴーシュ」
5年生 小林志歩さん



「北校舎のろうか」
6年生 数藤若菜さん



▶「巨大な鳥」
2年生 丸山奨平くん



▶「いちよつのも木であそんで
いる」
3年生 柄沢達也くん



「海でかいをひろったよ」
1年生 瀧沢 慶くん



「かわった毛ぶかいハクトウワシ」
2年生 小林峰秋くん



「にんじゃ」
2年生 樋口力斗くん

「そばが名物」といいたが、
も、これまでは家庭でそば打ち
をするところは少なかった。栽
培して自分で打って食べるとい
う、本来のそば産地になろう。
何よりも、自分で打ったそば
は最高にうまい。

㊦



「ここはこうして」「へえーな
るほど」...
ここにきて、そば打ちを学ぶ
人が増えている。少し前までは、
集団転作での栽培や集落単位の
そば祭りの広がりが見られた
が、昨年あたりから個人でそば
を打って楽しむという気運が
広がっている。いいことだ。

そば打ちの風景

